

地域防犯パトロール活動だより

浅草警察署管内



浅草防犯協会婦人部

平成19年10月から毎週水曜日に、浅草警察署管内の幼稚園・小学校の下校時の園児児童に対する「声かけ運動」を実施しており、児童等の安全確保に努めています。

また、振り込め詐欺被害防止アドバイザーとしても活躍しており、振り込め詐欺撲滅パレードや、街頭キャンペーン等に積極的に参加するなど犯罪抑止活動にも大きく貢献しています。

安全・安心リーダー講習会を開催しました



平成20年12月4日蔵前警察署講堂で台東区生活安全推進課長を講師に自主防犯活動についてお話をしました。当日参加いただいたのは102名。日頃から防犯活動に中心的な活動をされている受講者の方々に防犯活動の謝意と今後の活動についてお話をしました。

また、同年12月11日東上野区民館では、総合防犯設備士 鈴木松三郎氏に「防犯性能の高い建物部品について」実際にガラスを割るデモンストラクションを交え防犯についてわかりやすくお話いただきました。日頃から積極的な防犯活動をされている47名の参加者の方は熱心に聞いていました。



平成20年度生活安全のつどいを開催しました。

平成20年10月4日 浅草公会堂で、台東区、上野・下谷・浅草・蔵前の各警察署及び各防犯協会の共催による「台東区生活安全のつどい」が開催され、当日は、およそ1,000人もの大勢の方に参加していただきました。

このつどいは、10月11日から20日までの全国地域安全運動と連携し、区民の皆さんに防犯意識の高揚・啓発を図ることを目的としています。

式典に続き、第1部では、警視庁建物防犯協力員の小沼広司氏による「進化する犯罪とこれからの防犯」についての防犯講話を、区民の方たちは熱心にきいていました。

第2部は島倉千代子さん・吉永加代子さんの歌謡ショーが行われ、参加者の皆さんに素晴らしい歌声をお楽しみいただきました。



「たいとう安全・安心掲示板」運用中



暴力団追放キャンペーン

平成20年10月11日午後、浅草で暴力団追放キャンペーンを実施しました。

台東区は平成17年12月に「暴力団追放都市宣言」を行い暴力団のいない明るい住みやすいまちづくりを推し進めています。

キャンペーン当日は雨上がりの中、新仲見世～仲見世通りを区立台東育英小学校金管バンドの皆さんによる演奏パレードが元気良く行なわれ、浅草を訪れた人達を楽しませていました。

また金管バンドに続いて、台東地区暴力団追放推進協議会会長、台東区長、各警察署長等の皆さんが啓発物品を配布しながら、暴力団追放をアピールしました。



暴力団三ない運動

- 暴力団を恐れない
- 暴力団に金を出さない
- 暴力団を利用しない

平成20年度 幼児用ヘルメットの申込み締め切りは平成21年3月31日です。

まだ申込みをされていない方は至急申込みください。締切日を過ぎての申込みはできません。

対象となるお子様の生年月日：平成18年4月2日生から平成19年4月1日まで

申込・問合せ先 危機管理室生活安全推進課 電話 5246-1044



生活安全ニュースに広告を載せませんか

料金 1・4面欄外：1万2千円
4面：10万円(およそ10cm×6cm)

問合せ先 生活安全推進課
電話 (5246) 1044

生活安全ニュース

第 8 号

平成21年3月25日発行

編集・発行 台東区危機管理室生活安全推進課 〒110-8615 台東区東上野4丁目5番6号 TEL 5246-1044 FAX 5246-1019

身近な防犯活動を始めませんか

平成20年度に実施した東京都の都民生活に関する世論調査で、都に特に力をいれてほしい事項に治安対策と答えた方が54パーセントとほぼ半数の方が犯罪に不安を抱いている結果がでました。

台東区でも安全で安心して暮らせるまちづくりに向けて、区内警察署・防犯協会・各パトロール団体等と連携して取り組んでいますが、この取組には、地域の皆様の協力が不可欠です。

自分達のまちは自分達で

防犯の第一歩は自分達のまちを愛すること、そして、自分達で守っていくという意識を持つことからスタートです。

では、実際の防犯活動にはどんな活動があるのでしょうか。

今私達の生活様式は多様化して、朝の起床から就寝に至るまでの時間がまちまちで、防犯活動をしたい気持ちはあるけれど、とこの足を踏んでいく方は多いのではないのでしょうか。

今回は身近で今日からできる防犯活動を紹介いたします。

あいさつをしよう

まず、あいさつをすることから始めましょう。

犯罪者は人に覚えられる事を嫌います。なるべく人と接しないで犯罪を起そうと考えています。あいさつをする事は顔を認識され犯罪を起さずすつけかけをなくすことになるのです。

<p>ステップ 2</p> <p>落書き消し・清掃</p>	<p>ステップ 1</p> <p>あいさつ</p>
<p>ステップ 3</p> <p>防犯パトロール</p>	<p>安心して暮らせるまちに</p>

また、最近マンション住民の方から、自分の住んでいるマンションにどんな人が住んでいるかわからないという声を聞きますが、あいさつをきっかけに互いに知ることもつながります。

あいさつを交わすことは、気持ちの良いものです。

家の周りをきれいにしよう

次にちよつと家の周りを見回してみてください。

整理整頓されていますか？落書きが放置されていませんか？

きがるに防犯パトロール

文頭に書いたように犯罪者は人に覚えられる事、つまり人の目がきらいです。

防犯パトロールというとすぐにイメージするのが、夜間パトロールではないでしょうか。新たにパトロール隊を編成してパトロールするのは、なかなか大変です。

でも、買い物に行く時間を子ども達の下校時間にあわせたり、通勤の道すがらの子ども達を見守ったり、落書きがないかを見ることもパトロールです。

要は、まちや人に関心を持って

落書きが放置されていたり、ごみがちらかつていたりするのは、そこに住む人たちがまちの管理に無関心ととらえられ、この無関心こそが犯罪の機会を与える事になります。

有名な例を紹介します。

アメリカのニューヨーク市の地下鉄は落書きだらけで、犯罪も多く発生していました。

ところが、これではいけないと落書きを消して地下鉄の美化を行なったところ、犯罪が減ったというのです。

落書きだけでなく、きれいなまちは気持ちが良いものです。最初は家の周りをきれいに、そして、次は近所と地域全体で落書き対策やまちの美化活動へつなげていきましょう。

それは、犯罪者が入りにくいまちづくりにつながります。



- 迷わず110番通報
- 決して声を掛けたり、捕まえようとしないで、警察官がくるまで監視してください。
- 不審者を発見した場合は、性別・年齢・服装・身長・体格・髪型などをメモしてください。
- 不審車の場合は、色・型・ナンバー・乗車人数・ヘルメットの色や逃走方向をメモしてください。

歩いているかです。

また、決まった日ではなく、ちょっとグループでお出かけした時にみんなで、遠回りしてみたり、人通りの少ない道をチェックしたりするのも防犯パトロールです。

私達のまちをおとなの目でしっかりと見守っていきましょう。

もし、不審者車等に遭遇したら次のような行動を心がけてください。

住宅火災からの死者が相次いで発生しています。住宅用火災警報器を設置しましょう。今お住まいの住宅にも平成22年4月1日から住宅用火災警報器の設置が義務となります。

問合せ 最寄りの各消防署